



おたより

2021年度 学生特別号

桜の聖母短期大学
親と子のひろば



今回は、「親と子のひろば」での活動を見た、こども保育コース2年の学生たちによる、特別なおたよりをお届けします！

子どもたちの活動の様子を学生はどのように捉えているのでしょうか？ また、学生自身はどのような気持ちで子どもたちと関わり、どのような気づきを得ているのでしょうか？ そうした学生の視点や思いが、学生が綴る言葉の一つひとつから、皆様に伝わったら素敵だな～という新たな試みです。ぜひ、ご期待ください！

緊張を乗り越えてこそ、はじめまして！

今日、初めて「親と子のひろば」に参加する学生たち。とても緊張している様子がこの写真からも伝わってきますね。子どもとどう関わっていいのかわからなくて、最初はお母さんと遊んでいる子どもの様子をじっと見つめていました。

距離感も絶妙です……こう見るとお母さんが先生となり、学生たちに子どもとの関わり方を教えているようにも見えます。学生たちも必死になって子どもとの関わり方を考えています。

はじめは緊張して見ているだけだった学生も、どう接すればいいのか考え、自分なりの援助をしてお医者さんごっこを楽しんでいます。子どもの方も慣れてきたのか学生の手当てをしてお医者さんになりきっています◎完全に二人だけの世界ですね。一方、右側はこの時、唯一外で遊んでいた子の様子です。水で遊ぶことの楽しさに、目覚めたようですね。これから暑くなり、野菜が育ってくる季節になるのもっと外遊びが楽しくなるような予感がします！

(担当:齋藤七波)





今日は初対面の学生とドキドキのひと時を過ごしました。見てください、緊張している学生と、緊張している子どもの間に生まれたこの距離感。それぞれの気持ちに思わず共感して、初々しい姿に笑みがこぼれませんか？大人だけではなく、子どもだって「はじめまして」は緊張するものです。このような体験ができるのも「親と子のひろば」ならではのかもしれません。お家では見られない意外な一面が見えるかもしれませんね。



先程の写真と比べてみてください、この距離感！ すごく距離が縮まっていると思いませんか？ はじめましてから時間が経てば、あとはもう二人の世界。この日は外で水をあげる子どもや、中でじっくり遊ぶ子どもの姿が見られました。学生とお医者さんごっこをしてみたり、外では水をあげるための作戦会議をしたり。初めは緊張していても、時間が経つとこんなにも距離が縮まります。きっと子どもが持つ不思議なパワーなのかもしれませんね。

(担当:佐藤夢叶)

子どもたちの世界！ 夏の新たな出会い

夏に突入！ 砂場でジョウロにペットボトルで水を汲み自分の周りに水を撒きます。ペットボトルで水を汲むとぶくぶく音が鳴り、水の変化を楽しんでいます。外は暑く、元気いっぱい遊んだら涼みたくなり、一足先に足だけプールに！ 冷たくて気持ちいいね。

こちらは、絵本を一冊ずつ床に落としていきます。床に置いた絵本は、職員がテーブルにきれいに並べます。並べたのを見るとたくさんの素敵な絵本の表紙が。絵本は中身を楽しむだけではなく、表紙も楽しめるという新たな発見を教えてくださいました。

最初は一人遊びを行っていた二人。遊んでいくにつれ、自分と近い年齢のお友達がいると気づいたのか徐々に近づいていきます。お互いに歩み寄り、ちょんちょんとつついてみると、こちらもちょんちょん。探り合いながら相手との距離を縮めていきます。周りの大人もドキドキしながら二人の新しいお友達との出会いを静かに見守ります。「触れてみようかな」という小さな気持ちから、交友関係が広がっていくのも「親と子のひろば」での醍醐味です。

(担当:武田佳央理)



お外で遊んだり、室内で遊んだり、子どもたちはのびのびと楽しんでいる様子でした。お外では、水の中に入ってみたり、ジョウロで水を流してみたり。室内では、絵本を棚から落としたり、並べてみたり、落ちた絵本を踏んだりして楽しむ子どもたち。子どもたちは、水の音や感覚、絵本を落とした音、踏んだ感触、保護者の方の温かい反応など、一つひとつの感覚を心や豊かな感受性を通して、楽しんでいるようですね。子どもたちに寄り添うことで、気づくことができないおもしろさに出会えるかもしれませんね。

お母さんの後をついて行ったり、おもちゃで遊んでみたり、それぞれの遊びを楽しんでいる子どもたちでしたが、だんだんお友達に興味を示します。お互いに、顔や体をじーっと見つめたり、触れてみたり、目や手、心を使って、お友達のことを知ろう、感じようと真剣です。言葉でなくても、子どもたちは、素晴らしい感性を通して、コミュニケーションをしているのです。こうした子どもたちの世界、大切にしたいものです。

(担当:本田理紗)

子どもの遊びは無限大！ のびのび遊ぶ「親と子のひろば」

「親と子のひろば」に来たらまず始めに、みんな手を洗います。泡をたくさん出して握ったり、開いたりして泡の感触や変化などを楽しんでいました。また、水をたくさん出したり、少しだけ出したりと、水が出ている様子を見て楽しんでいた子もいます。大人からしたら手を洗うだけなのに子どもたちならではの、それぞれの楽しみ方があるのだと感じました。お母さんも学生も、その様子を見守っています。

遊んでいるときに足をぶつけてしまいました。泣くのをぐっとこらえて学生にしがみつきます。お姉さんがいると、安心するのかな？ 10分ほどで落ち着き、また一緒に遊び始めました。また、他の子どもたちは、ぬいぐるみとお話して二人だけの世界を楽しんだり、周りをキョロキョロしながら気になったおもちゃで遊んだり、それぞれの遊びをのびのび楽しんでいました。

(担当:丹治鮎美)





水に触れることが気持ちのいい時期になってきました！ 保護者の方や学生が感染予防のため、手洗いをしている中、モコモコしている泡の感触を握ってみたり、開いてみたりしながら楽しんでいます。泡だけではなく、蛇口から出てくる水にも興味津々の様子。自分の手で蛇口をひねり出てくる水の量が違ってびっくり！ 普段の手洗いの場面だけでも、どんどん興味を広げ、自分の遊びにつなげていく様子に驚かされました。

なんだか学生とゆったりとした時間を過ごしている様子が伝わってきますね。緊張していた学生もぬいぐるみを使って話すなど、甘えたい気持ちにもとことん答えている姿も見られます。

音のなるおもちゃに足をバタバタして反応していたね。いろいろなおもちゃがあって触れられてうれしね！ 様々な年齢のいる空間で、様々な玩具や遊びを体験できる環境があることで、学生にとって子どもにとっても心地よい空間になるといいですね。

(担当:松本利野)

今後の予定



7月16日(金)

21日(水)

28日(水)

30日(金)

学生たちの気持ちや気づきが、皆様に伝わりましたでしょうか？ お読みになった感想等ありましたら、ぜひ、お寄せいただくと嬉しいです。

(文責:初澤宣子)



♪ お問い合わせ ♪

桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町3-6

☎ 024-534-7137 (代表)



※「親と子のひろば」新規ご希望の方は、
✉ oyatoko@ssjc.ac.jp までメールをお送りください。

